

内容に変更のある該当ページは，以下のとおりです。

【書籍名：中学入試 自由自在問題集 国語】

本文	18～19
解答	6～7

1 ローマ字の表し方を理解する

(1) ローマ字表

あ a	い i	う u	え e	お o			
か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko	きゃ kya	きゅ kyu	きょ kyo
さ sa	し shi	す su	せ se	そ so	しゃ sha	しゅ shu	しょ sho
た ta	ち chi	つ tsu	て te	と to	ちゃ cha	ちゅ chu	ちょ cho
な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	にゃ nya	にゅ nyu	にょ nyo
は ha	ひ hi	ふ fu	へ he	ほ ho	ひゃ hya	ひゅ hyu	ひょ hyo
ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	みゃ mya	みゅ myu	みょ myo
や ya		ゆ yu		よ yo			
ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	りゃ rya	りゅ ryu	りょ ryo
わ wa				を※ (o)			
が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	ぎゃ gya	ぎゅ gyu	ぎょ gyo
ざ za	じ ji	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	じゃ ja	じゅ ju	じょ jo
だ da	ぢ※ (ji)	づ※ (zu)	で de	ど do	ぢゃ※ (ja)	ぢゅ※ (ju)	ぢょ※ (jo)
ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	びゃ bya	びゅ byu	びょ byo
ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	ぴゃ pya	ぴゅ pyu	ぴょ pyo
ん※ n							

() は、別のかなと同じ発音のため、同じ発音をする別のかなのつづり方で書くもの。

※ コンピュータに文字を入力するときは、次のように打ちます。

を→WO ん→NN

ぢ→DI づ→DU

ぢゃ→DYA ぢゅ→DYU

ぢょ→DYO

ステップ1 まとめノート

ローマ字

第1章 文字

入試重要度★

解答↓別冊6ページ

(2) ローマ字のきまり

- **のばす音** (長音) …① **母音** (a・i・u・e・o) の上に「ー」をつける。② 母音の文字を重ねて書く。

例 rōsoku/rousoku (ろうそく) otōto/otouto (弟)

基本は①の書き方だが、のばす音が「い」列のものや、「え」列のうち、ひらがなで「え」と書かないものは、ふつう②を使う。

例 oniisan (おにいさん) keisatsu (けいさつ)

- **つまる音** (そく音) …次の音のはじめの字を重ねる。

小さい「つ」のこと。

例 kitte (切手) gakkō (学校)

- **はねる音** (はつ音) …「n」と書く。ただし、はねる音「n」の次に、「a・i・u・e・o」や「y」が続く場合は、「n」のあとに「ˊ」をつける。

例 kan (缶) senzai (洗剤) zen'in (全員) min'yō (民謡)

- **大文字で書く場合**…文の最初や、人名・地名の最初の文字は大文字で書く。地名などはすべて大文字で書くこともある。

例 Watashi wa Tanaka-san to KŌBE e iku. (私は田中さんと神戸へ行く。)

- 次の言葉をローマ字で書きなさい。 ① 実行 ② 船員

[①] [②]



「し」「ち」「ふ」などのように、表し方がほかと異なるものについては特にしっかり覚えておこう。ローマ字の表し方と入力方法が異なる文字には要注意だ。

1 [ローマ字] 次のローマ字をひらがなで書きなさい。

- | | | | |
|------------|-----|------------|-----|
| (1) kaidan | [] | (2) okāsan | [] |
| (3) ningyō | [] | (4) Kyōto | [] |
| (5) gyūnyū | [] | (6) happa | [] |

2 [ローマ字] 次の言葉をローマ字で書きなさい。

- | | | | |
|-------------------------|-----|-----------------------|-----|
| (1) 電話 | [] | (2) 雑誌 ^{ざっし} | [] |
| (3) 終点 | [] | (4) 外国人 | [] |
| (5) 工場 ^{こうじょう} | [] | (6) 半円 | [] |
| (7) 本番 | [] | (8) 人間 | [] |

3 [ローマ字] 次の文を、ひらがなで書きなさい。

- (1) Issho ni gakkō e ikō.
[]
- (2) Gen'in to kekka.
[]
- (3) Yakusoku no jikan ni nattayo.
[]

4 [ローマ字] 次の文を、ローマ字で書きなさい。

- (1) 宿題をする。
[]
- (2) 郵便局^{ゆうびん}で切手を買う。
[]
- (3) これを見てください。
[]
- (4) 東京^{とうきょう}からおじさんが来た。
[]

- 2 イ「強」、ウ「教」、オ「進」、カ「経」、ケ「問」、コ「率」は十一画である。
- 3 (1)「席」は十画、(2)「園」は十三画、(3)「尊」は十二画、(4)「昼」は九画である。また、ア「暮」は十四画、イ「巻」は九画、ウ「陸」は十一画、エ「家」は十画、オ「傷」は十三画、カ「報」は十二画である。

- ・ まちがえやすい画数の部首

- 4 イは「**口**」ウは「**月**」エは「**エ**」クは「**禾**」。(3)の部首は「**かばね**」ともいう。(4)の「**ネ**」(しめすへん)は「**神様や祭り**」などの意味を表す。「**ネ**」(ころもへん)と区別して覚えよう。

部首の形と名前だけでなく、「頁」は「頭・顔の動き」、「貝」は「お金に関すること」などの意味もあわせて覚えておこう。

- 5 (1)は「異議」。「異^{こと}なつた意見・反対意見」の意味である。(2)はウ「発展」。「発」の部首は「彳」で、「はつがしら」と呼^よばれるかんむり。(3)はイ「構想」。「構想」は「内容^{ないよう}や組み立てを考へること」。「想」の部首は「心」で、「こころ」である。
- 6 それぞれの漢字の筆順を確認しておこう。

- (4) (3) (2)
- | | | |
|---|---|---|
| 希 | 帶 | 物 |
| ↓ | ↓ | ↓ |
| ノ | 一 | 、 |
| ム | 十 | レ |
| フ | 卅 | 牛 |
| 彡 | 卅 | 牛 |
| 彡 | 卅 | 物 |
| 希 | 世 | 物 |
| | 世 | |
| | 世 | |
| | 世 | |
| | 帶 | |
| | 帶 | |

❗️に注意

筆順には基本的なきまりがあるが、例外的な筆順もあるので、自分で書いて覚えることが大切である。

- 7 (1) 「𤇑」は漢字の下につくあしで、「れんが(れつか)」と呼ばれ、火に関する漢字であることを表す。

- 8 「務」の部首は「力」で「ちから」。（ほら、ほら、よ）「矛」を部首とする考え方もあるが、【Aグループ】に「矛」部の漢字がないので「ちから」を部首とする。エ「加」も同じ「力（ちから）」が部首である。また、総画数は十一画。エ「健」と同じ画数である。

- (2)「進」は「しんによう（しんにゆう）」で、「道を行く・進む」などの意味に関連する漢字であることを示す。

- 10 (3)の「手」は「ま」に、(5)の「肉」は「月」に、部首ではなる。

- (2) 「見聞」は「見たり聞いたりすること・見たり聞いたりして得た知識」のこと。

- (4) 「正味」は実質的な数量のこと。

- (5) 「月」は「にくづき」と呼ばれ、体に関する漢字であることを表す。

4 ローマ字

ステップ1 まとめノート

本冊
↓
18
ペー
ージ

- ① jikkō(jikkou) ② sen'in

解説

- ①つまる音(そく音)、つまり「っ」があるので、次の音「お」のはじめの字「お」を二回書く。「こう」の部分には**のばす音(長音)**がふくまれるので、「**ko**」と上**にのばす音(長音)**を表す記号「**ー**」をつける。

- ②はねる音(はつ音)「ㄱ」と母音「ㅏ」が続く。「senin」だと「せにん」と読んでしまふおそれがあるので、「ㄱ」のあとに「ㄹ」をつける。

- 1 (1) かいだん (2) おかあさん (3) にんぎょう
(4) きょうと (5) ぎゅうにゅう (6) はっぱ
- 2 (1) denwa (2) zasshi (3) shūten(shūten)
(4) gaikokujin (5) kojō(kōjō)
- 3 (1) han'en (7) honban (8) ningen
(2) いっしょにがっこうへいっく。 (3) げんいんとけつか。
(4) やくそくのじかんになったよ。
- 4 (1) Shukudai o suru.
(2) Yubinkyoku(Yubinkyoku) de kitte o kau.
(3) Kore o mitekudasai.
(4) Tokyo(Toukyou,Tokyo) kara ojisan ga kita.

解説

- 1 (1) 「」の記号のはばす音(長音)を表すので、「おかあさん」と読む。(3)二つめの「」ははねる音(はつ音)「ん」を表す。
(2) 「ppa」と「p」が重なるので、「っぱ」の音になる。

①「」と「ん」

つまる音(そく音)は、次の音のはじめの字を重ねて表す。

- 2 (1) はねる音(はつ音)「ん」は、「ん」で表す。
(2) 「し」は「shi」と書くので注意。つまる音(そく音)「っ」が入るので、次の音「shu」のはじめの字「s」を二回書く。
(3) 「しゅう」とのはばす音(長音)があるので、「shu」の母音「u」の上に、のばす音(長音)を表す「」をつける。
(4) 「じ」は「ji」と書く。
(5) 「じち」は「jochi」と書く。
(6) 「hanen」だと、「はねん」と読んでしまうおそれがあるので、「han'en」と「」の記号をつけて、分けて読めるようにする。

①「」に注意

はねる音(はつ音)「ん」は「ん」と書くが、その後に母音「あ・い・う・え・お」、つまり「a・i・u・e・o」が続く場合、「an・in・un・en・on」と続けて読んでしまうおそれがあるので、「」の記号を入れて一字ずつ分ける。

- 3 (1) つまる音(そく音)「っ」が入るので、次の音「sho」のはじめの字「s」と次の音「ho」のはじめの字「h」とが二回書かれている。のばす音(長音)があるので、「ho」の「o」の上に「」の記号がついている。
(2) 「Genin」では、「げにん」と読んでしまうおそれがあるので、「Genin」と「」の記号をつけて、分けて読めるようにしてある。
(4) (2) 「ゆう」とのはばす音(長音)があるので、「yu」の母音「e」の上に、のばす音(長音)を表す「」をつける。また、「切手」の「て」の前につまる音(そく音)「っ」が入るので、次の音「te」のはじめの字「t」を二回書く。

理解度診断テスト

理解度診断

A : 80点以上、B : 50〜79点、C : 49点以下

本冊↓20〜21ページ

- 1 (1) ①(お)そな(え) ②ほが(ら)か ③こだち
(4) こがい (5) たんもの
- 2 (1) ①(誤)清 (正)精 ②(誤)決 (正)結
(2) ①(誤)積 (正)績 ④(誤)主 (正)首
(7) 放任 (8) 成算 (9) 気絶 (10) 不当 (11) 機転 (12) 浴(びる)
- 3 (1) イ (2) イ
- 4 (1) ①試行 ②思考 (2) ①個人 ②故人
(3) ①対象 ②大賞
- 5 (1) 10 (2) 11 (3) 8 (4) 12
- 6 (1) エ (2) オ